

環境保全協定に基づく「環境保全報告書」

令和 6 年度環境保全報告書

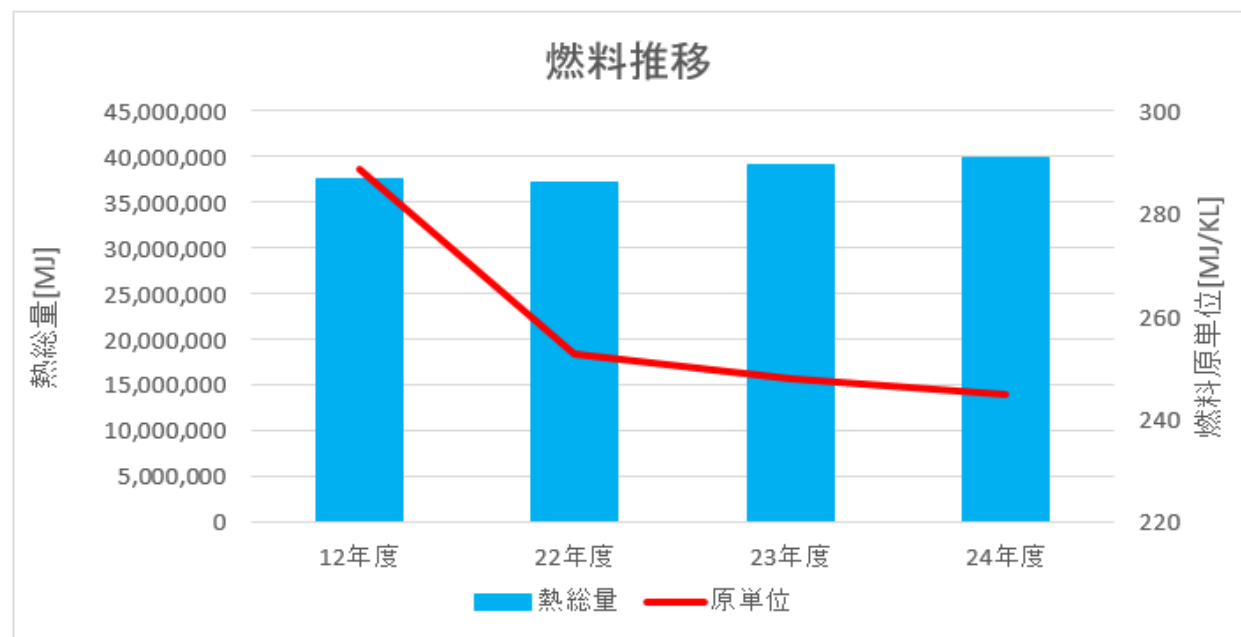
アサヒ飲料株式会社六甲工場

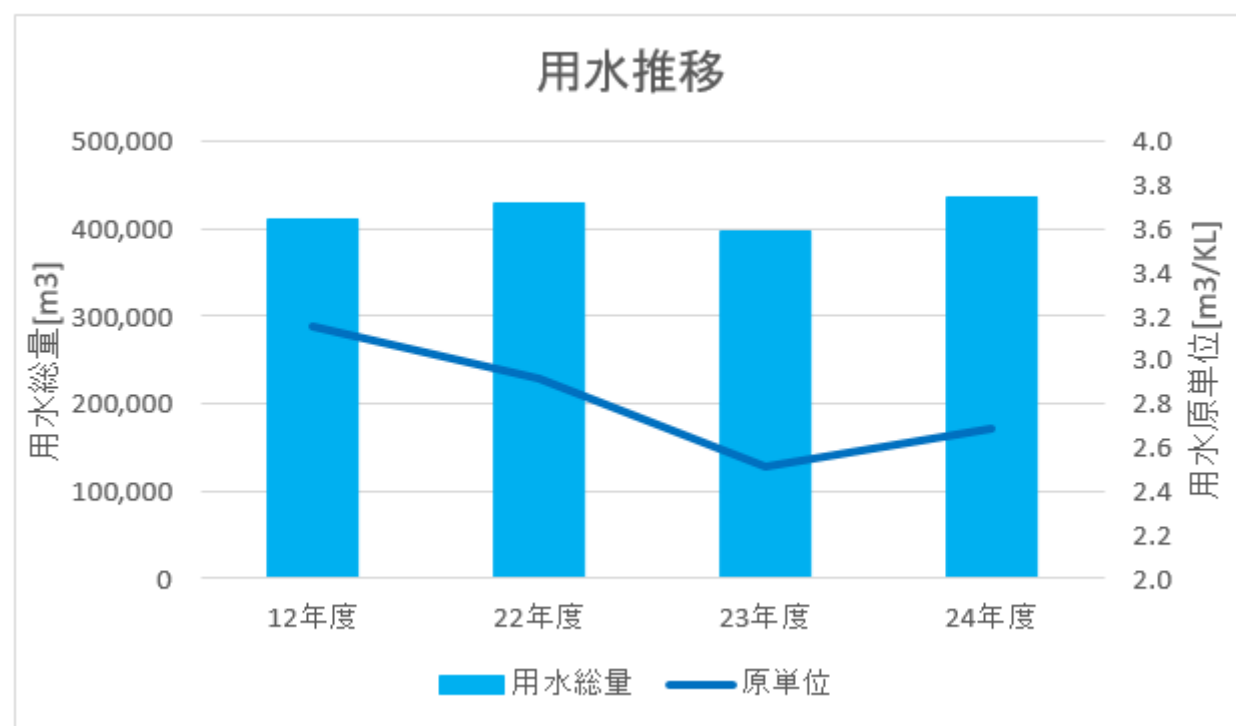
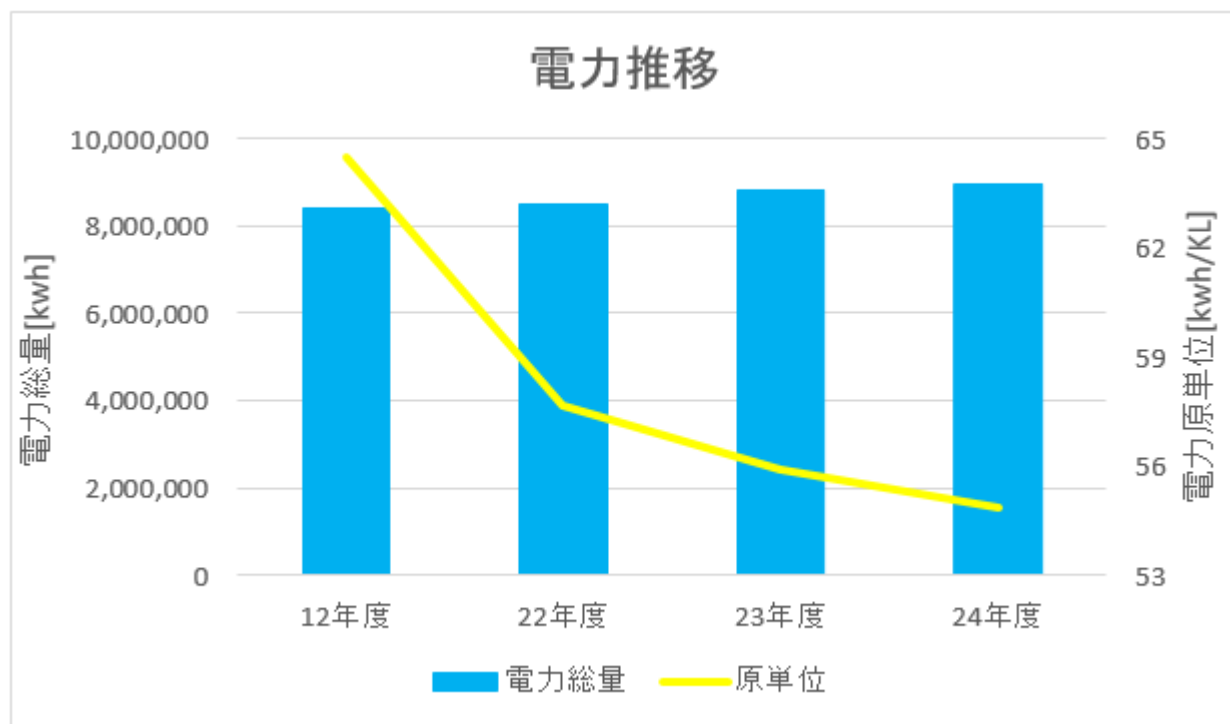
①当該年度の重点取組目標・計画の実施状況

当工場では、エネルギー原単位について前年比1%削減を目標に取り組んでおります。
2024 年度は、前年度より燃料使用量が 1.3%削減、電力は 1.9%削減、用水は 6.8%増加しました。
今後、計画している省エネ施策を着実に実施し、原単位低減の取り組みを進めていきます。

●エネルギー使用量・原単位

項目			12年度 (基準)	22年度	23年度	24年度
製造量	総量	KL	130,414	147,292	157,822	162,950
燃料	総量	m3	836,221	863,822	908,262	925,944
	熱総量	MJ	37,629,945	37,198,077	39,111,761	39,873,187
	原単位	MJ/KL	288.5	252.5	247.8	244.7
電力	電力総量	KWh	8,413,733	8,495,995	8,822,952	8,940,779
	原単位	KWh/KL	64.5	57.7	55.9	54.9
用水	用水総量	m3	410,526	429,005	396,140	437,007
	原単位	m3/KL	3.1	2.9	2.5	2.7





②公害防止対策に係る報告

ア. 目標達成状況と目標達成のために講じた措置・対策

	目標項目	目標達成状況	目標達成の為に講じた措置・対策
大気汚染防止対策	◆「大気汚染防止法」、「大気汚染防止法第4条第1項の排出基準に関する条例(兵庫県条例)」及び「環境の保全と創造に関する条例(兵庫県条例)」等の法令の規定を遵守する。 ◆別表ばい煙発生施設からの排出規制に係る目標値を遵守する。	排出に関わる測定結果が自主目標値内であった。別表にて報告。	◆排ガス処理施設の適正な維持管理に努めるとともに、「排出ガス中のばい煙濃度測定計画」により目標の順守状況を確認した。
水質汚濁防止対策	◆「下水道法」、「神戸市下水道条例」、「水質汚濁防止法」、「瀬戸内海環境保全特別措置法」等の法令の規定を遵守する。 ◆下水は「下水道法」、「神戸市下水道条例」は、別表に記載する水質に係る管理目標値を遵守する。 ◆排水水は「水質汚濁防止法」、「瀬戸内海環境保全特別措置法」に定める基準を遵守する。	排出に関わる測定結果が法令基準内であった。別表にて報告。	◆排水処理施設の適正な維持管理に努めるとともに、「排水水の汚濁状態測定計画」及び「排水水の汚濁負荷量の測定計画」に基づき目標値の順守状況を確認した。
騒音防止対策	◆「騒音規制法」及び「環境の保全と創造に関する条例(兵庫県条例)」に定める基準を遵守する。	騒音・振動に関わる測定結果が基準内であった。	「騒音規制法」「振動規制法」及び「環境の保全と創造に関する条例」の規制基準の遵守状況を確認した。
振動防止対策	◆「振動規制法」及び「環境の保全と創造に関する条例(兵庫県条例)」に定める基準を遵守する。		
悪臭防止対策	◆「悪臭防止法」及び「環境の保全と創造に関する条例(兵庫県条例)」に定める基準を遵守する。	臭気に関わる測定結果が基準内であった。	「悪臭防止法」及び「環境の保全と創造に関する条例」の規制基準の遵守状況を確認した。
産業廃棄物対策	◆廃棄物の処理及び清掃に関する法律等の法令の規制を遵守し、廃棄物の適正処理を行う。 ◆廃棄物の発生量を抑制するとともに、再利用を促進する。	廃棄物に関わる産業廃棄物管理表制度、廃棄物の保管・処理基準を遵守出来た。資材廃棄ロス削減に取り組んだ。	廃棄物に関わる産業廃棄物管理表制度、廃棄物の保管・処理基準の遵守状況を確認した。

イ. 2024 年度 排出水の汚濁状態測定結果

排水口名: 公共下水道									
項目			管理目標値	測定値		全測定回数	超過目標値を 回数	目標値達成回数	法令基準達成判定
				最大値 (pHのみ 最小～最大)	平均				
法令排水基準設定項目	1	水素イオン濃度(pH)	5.8~8.6	6.8~7.5	7.7	12	0	○	○
	2	生物化学的酸素要求量(BOD)	159.2mg/L	250	24.8	12	0	○	○
	3	浮遊物質(SS)	49.2mg/L	40	8	12	0	○	○
	4	ノルマルヘキサン抽出物質含有量 動植物油脂類含量	27.7mg/l	0.3未満	0.3未満	12	0	○	○
	5	ノルマルヘキサン抽出物質含有量 鉱油類含有量	4.5mg/l	0.3未満	0.3未満	12	0	○	○
	6	窒素含有量	56.2mg/l	2.2	0.5	12	0	○	○
	7	炭含有量	14.0mg/l	4.4	0.5	12	0	○	○
	8	沃素消費量	198mg/l	0.0	1未満	12	0	○	○
	9	温度	44.5℃	36.0	26.1	12	0	○	○

単位はpHを除き、mg／ℓ
○ 達成 × 未達成

ウ.当該年度における窒素酸化物濃度・ばいじん濃度の測定結果

設備名称	窒素酸化物				煤塵			
	自主目標値	2回測定値 (最大)	2回測定値 (平均)	目標 法令判定	自主目標値	2回測定値 (最大)	2回測定値 (平均)	目標 法令判定
貫流ボイラー1号	135.0	0	#DIV/0!	○	0.09	0.000	0.002未満	○
貫流ボイラー2号	135.0	29	28.0	○	0.09	0.002未満	0.002未満	○
貫流ボイラー3号	135.0	27	20.0	○	0.09	0.002未満	0.002未満	○
貫流ボイラー4号	135.0	32	29.5	○	0.09	0.002未満	0.002未満	○
貫流ボイラー5号	135.0	23	19.5	○	0.09	0.002未満	0.002未満	○
貫流ボイラー6号	135.0	25	25.0	○	0.09	0.002未満	0.002未満	○
貫流ボイラー7号	135.0	29	26.0	○	0.09	0.002未満	0.002未満	○

③地球温暖化対策に係る報告

ア. 今年度における電気・燃料等の使用量、温室効果ガス排出量

活動区分	燃料・焼却物等の種類	使用量等	単位	単位発熱量 (MJ/Nm3)	排出係数 kg-CO2/MJ	排出量 kg-CO2	温暖化係数 CO2	合計 (CO2換算)
燃料の使用	原料炭		kg	28.9	0.0867			
	一般炭		kg	26.6	0.0906			
	A重油		L	39.1	0.0693			
	B重油		L	40.4	0.0705			
	C重油		L	41.7	0.0716			
	LPG		kg	50.2	0.0598			
	都市ガス	886,071	Nm3	45.0	0.0499	1,988,343	1	1,988,343
	その他(廃棄物等)		kg	42.3	0.0762			
電気事業者から供給された電気の使用	一般電気事業者	8,940,779	kWh		0.299 (kg-CO2/kwh)	2,673,293	1	2,673,293
熱供給事業者から供給された熱の利用			MJ					
合計						4,661,636		4,661,636

イ. 当該年度の計画達成状況

温室効果ガス	削減目標		排出量		削減率	
	23年度	24年度	基準年度(12年度)	24年度	基準年度比 24年度	削減目標比 24年度
CO2	4,376,947	4,333,178	4,888,596	4,661,636	4.6%	-7.6%
CH4						
CO						
HFC						
PFC						
SF6						
合計	4,376,947	4,333,178	4,888,596	4,661,636	4.6%	-7.6%

ウ. 目標達成のために講じた措置・対策の達成状況

	分野	項目	細目	目標	実施状況
1	エネルギー使用の合理化	電力使用量の削減	MW600・炭酸製造時井戸ポンプ揚水最小化②	1月開始	1月より運用
2	エネルギー使用の合理化	電力使用量の削減	低圧コンプレッサー圧力設定値変更	1月開始	1月より運用
3	エネルギー使用の合理化	燃料使用量の削減	ボイラー保温	3月開始	3月より運用
4	エネルギー使用の合理化	電力使用量の削減 燃料使用量の削減	原水前処理系統(フィルター&活性炭)切替頻度を3日毎→5日毎	4月開始	4月より運用

④公害防止対策、地球温暖化対策以外の環境保全活動に係る報告

今年度の環境保全活動に係る具体的実施内容

以下、HP 参照

<https://www.asahiinryo.co.jp/csv/eco/>